

プロモキヤノピーテント3 取扱説明書 使用上の注意及び禁止事項

このたびは、本製品をお買上げ頂き誠にありがとうございます。正しくお使いいただきため、御使用前に必ず本書をお読みください。また、キャンプ先での不測の事態に備えて、ご出発前に必ず予行練習をしてください。尚、この取扱説明書は組み立て後も捨てずに、大切に保管しておいてください。

保管・点検・お手入れ



- 本体のお手入れは柔らかい布等で拭いてください。著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。



- テントの寿命は取り扱い方法によって変わってきます。夏など紫外線の強い時期に設営したまま放置すると生地が傷み、寿命が短くなります。又、濡れたままや、湿気を帯びた状態で保管したり、バッテリー液、ジュース等の酸や腐食性の溶液、及び殺虫剤、ヘアスプレー等を生地にかけると寿命は短くなります。

組立上の注意



- 組み立ては平らな所で行ってください。



- 組み立ては2~3人以上で行ってください。

！ 注意 この警告を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う事故、及び物的損害の発生が想定される内容を表しています。



- ご使用の前に必ず家で一度、試し張りをして付属品の不足、縫製不良がないかチェックしてください。



- キャンプサイトは平地、乾いた地面、水はけの良い場所、日当たりの良い場所、風の影響の少ない場所を選んでください。



- 設営前に地面を整地し、小石などの凹凸を無くしてください。



- フライシートに雨が溜まった場合、水漏れする場合があります。雨が溜まらないようにしわ、たるみの出来ないように設営してください。



- このテントは一般キャンプ用に規格されています。山岳用、または常設用としてのご使用はお避けください。また、台風・集中豪雨・暴風時にはご使用を中止し安全な場所へ避難してください。



- 天災時の不可抗力やお客様のお取扱い上の不注意、不当な修理・改造による故障、破損等は保証いたしかねます。



- テントの近くで焚き火などの火を扱う場合には、テントに燃え移らないよう離れた位置でお願いいたします。



- テントの防水加工は徐々に低下します。市販の防水スプレーなどで防水加工を施してください。又、縫製部分から水が侵入する場合がありますが、市販のナイロン生地用の止め剤を使用してください。



- ポールを放り投げたり、ぶつけたりして傷つけないでください。ポールの破損の原因になります。また、強風時によりテントが変形して一定箇所に負荷がかかりすぎた場合は、ポールに曲がり癖が付いたり、破損することがあります。



- ご使用後のテントは日陰干しでよく乾かし、完全に乾いてから部品の数量をよく確かめて収納、保管してください。濡れた状態で放置されると、生地の色が他の部分へ色移りする事がありますのでご注意ください。



- テントの破損を見つたらすぐに補修してください。その際は市販のテント用リペアキットを使用してください。



- テントは防水加工が施されていますので外気とテント内の温度差が大きいと結露することがありますが、これは水漏れではありませんのでご注意ください。



- フライシートは夜露や雨をしのぐためのものです。天気の良い日中に使用される場合、外されていても問題ありません。又、ガイドロープはしっかりと張る様に取り付ける事で、テントへの風の抵抗を軽減してくれます。

- ペグはしっかりと打ち込んでください。



警告 この警告を無視して誤った使い方をすると、人が死亡、または、重傷を負う事故が想定される内容を表しています。



- テントの上に乗らないでください。落ちると危険です。



- 使用時は組み立て完了後、安全を確かめてからご使用ください。



- テント内での火器及び喫煙は危険ですので絶対にしないでください。



火気厳禁

お手入れの方法

当商品は耐久性には万全を期していますが、お客様のお手入れによって道具の寿命は変わってきます。又、大きなキャンプ道具はメンテナンスするよりも現地の方が、やり易い場合があります。基本的な以下の手入れを行ってください。



- 1) テントの中のゴミや埃を出してから片付けると後が楽になります。



- 5) ポールは設営中、常に大きな力を受けています。ポールを磨く際、曲がりや疲労した箇所がないかチェックしてください。



- 2) 使用後は、テントをひっくり返して飛ばないようにガイドロープで留め、ボトム（テントの底の裏側）を乾かしてください。



- 6) 飲物をこぼしたり、ハデな汚れは洗濯機の弱い水流で洗い、よく乾かしてから防水スプレーをまんべんなく吹き付けてください。



- 3) テントのファスナーは砂を噛んだりして壊れることがあります。そうなる前に汚れをよく落として滑りを良くする専用スプレーをかけてください。



- 7) 防水スプレーは、テントのメンテナンスには欠かせないものですが、有害な成分が含まれているので使用時は必ず風通しの良い屋外で行ってください。又、テント内に塗布する場合は換気には充分に注意を払ってください。

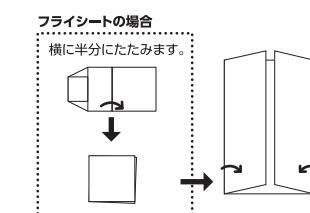


- 4) ポールに泥や、海辺の塩分を含んだ砂や土がついたままになっているとさびの原因になります。ブラシ等でキレイに磨き落してください。

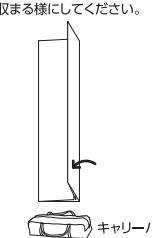
収納参考例

●インナーテント、フライシートのたたみ方

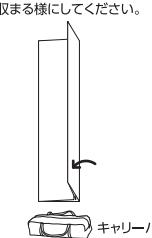
- 1 横の両脇の1くらいをたたみます。
(フライシートは先に半分にたたんでください。)



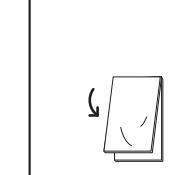
- 2 横に半分にたたみます。
このとき幅がキャリーバッグに収まる様にしてください。



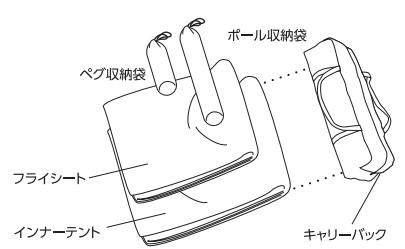
- 3 縦の両脇を4分の1にたたみます。



- 4 さらに半分にたたみます。



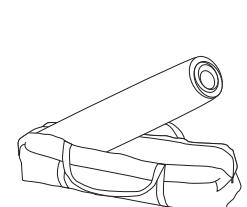
- 5 下図の様に最終的に横幅がキャリーバッグの長さに収まる様に微調整してください。



- 6 最後にこの状態でキャリーバッグに収納してください。



インナーテントを巻く際は空気をしっかりと抜く様にして巻くとキャリーバッグに収納しやすくなります。

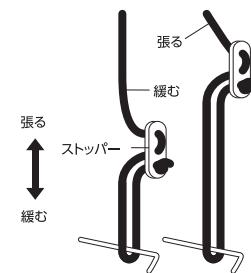


組み立て完成図



ガイドロープの調節

ロープを張るとき、ストッパーの端のロープを左図のようにペグに引っかけます。次に張るときはストッパーを上げるとロープが張ってきます。



部品明細

■まず、すべての部品を取り出し部品がすべて揃っていることを確認してください。

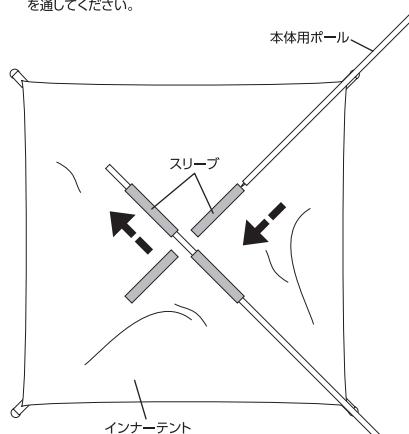
1	インナーテント	2	フライシート	3	本体用ポール (長)	4	フライ用ポール (短)	5	タープ用ポール	6	付属品 ガイドロープ8 ペグ18 ハンマー1 キャリーバッグ1
1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	8 18 1 1	

※付属品は、設置場所の状況に応じて市販の物を購入して使って頂く事をおすすめします。

● インナーテントの組み立て方

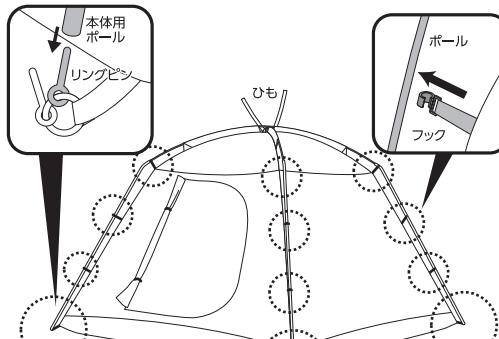
1 本体用ポールの取り付け

まずインナーテントを広げ、スリーブに本体用ポールを通してください。



2 本体用ポールの固定

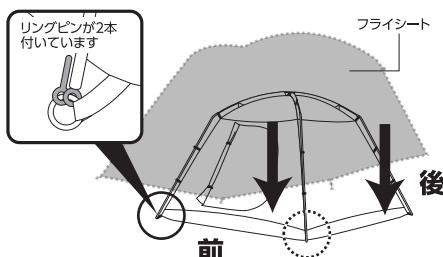
本体天面のひもでポールをまとめて結び、固定します。本体用ポールを下図の様にしならせてインナーテントの四隅にあるリングピンに差し込み、固定します。インナーテントに付いているフックを本体用ポールに引っかけて固定します。(12か所あります)



● フライシートの取り付け

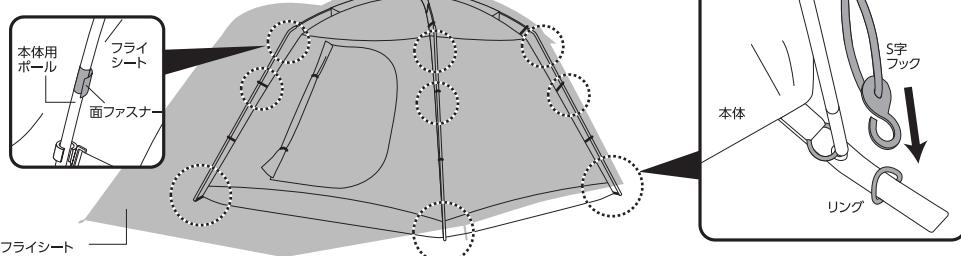
1 フライシートの取り付け

フライシートを、先程組み立てた本体の上へかぶせます。このとき、本体とフライシートの前後を確認してかぶせてください。
※フライシートは前室が付いている方、本体はリングピンが2本ついている方が前です。



3 本体とフライシートの固定

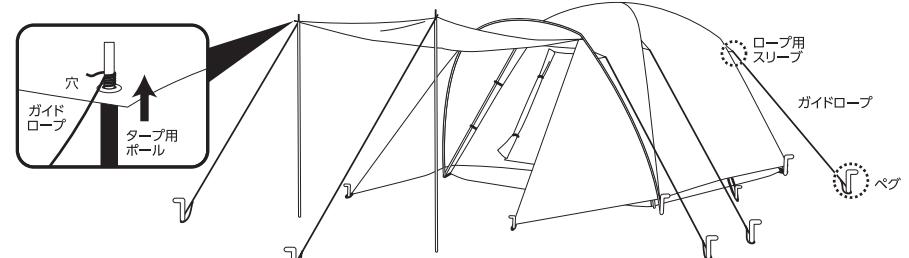
フライシートの内側にある面ファスナーで、本体用ポールとフライシートを固定します。(8か所あります)
次に、フライシートのS字フックを本体のリングに引っかけ固定します。反対側も同様に固定します。



4 フライシートの固定

下図の様にフライシートの下部に付いているゴムリング、インナーテントのリングをペグで地面に打ち付けて固定させます。
※対面も同様にガイドロープを通して、ペグを打ち付けてください。

フライテントの前面はタープ用ポールを使用することにより、扉を上に上げることができます。



※商品の外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。本製品につきましてご不明な点がございましたらご遠慮なく下記までご連絡ください。



発売元／株式会社 **山善** キャンバースコレクション係
家庭機器事業部 〒550-8660 大阪府大阪市西区立売堀3丁目2番5号
お客様相談窓口 ☎ 0120-069-060 (AM9:00～PM5:30)
フリーダイヤル ☎ 0120-069-060 (土・日・祝を除く)

その他の商品は右記のホームページをご覧ください。
www.cc1996.jp
商品のお問い合わせはホームページ「Q&Aコーナー」からも受け付けております。